

行ずる者、 迎える家、 つなぐ人びと——。

葛城山系には『妙法蓮華經』の一品一品が埋め納められた二十八の経塚と、それらをめぐる途上で行者の心身を鍛え、山の持つ力にその身を浸す行場の数々——「葛城二十八宿」をめぐる修験の道のりがある。和歌山市加太は、その道のりの西端に位置し、第一経塚である序品窟を始め、観念窟・関伽井跡・深蛇池といった聖地を島内に点在させる友ヶ島の対岸にあたる。その加太にはかつて伽陀寺と呼ばれる寺院があり、その寺の別当を務めた向井家が、現代でも行者たちを迎える「迎之坊」としてその伝統的な役目を継承し続けている。修験の道々の「鬼の家」を継ぐ人びともまた、行者たちの修行を今も支え続けている。

本展覧会では、和歌山大学 紀州経済史文化史研究所に寄託いただいた「向井家文書」を大きな軸にすえ、向井家に蔵される文化財の数々もお借りし、加太と友ヶ島という地域の信仰とそれを担ってきた人びとの、そして葛城修験の歴史をふりかえってみたい。

関連イベント

◎第6回 紀州地域学共同研究会 研究集会

主催：和歌山大学 地域活性化総合センター 紀州経済史文化史研究所

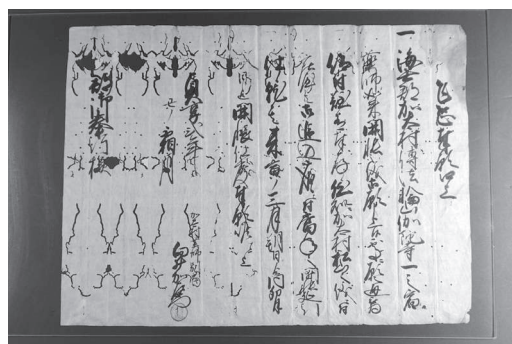
紀州地域学共同研究会〔代表：大橋直義〕

協賛：一乃会

（観世流能楽師〔重要無形文化財（総合指定）保持者〕：鈴木啓吾）

日時：2019年3月9日〔土〕～10日〔日〕※要事前申し込み〔定員50名〕

会場：和歌山県立博物館 2階 学習室



向井加左衛門「乍恐奉願口上（伽陀寺一之宿薬師如来開帳の儀）」
（貞享2年〔1685〕）個人蔵

3/9

11:00～12:00

13:00～17:00

和歌山県立博物館・企画展「国宝・古神宝の世界」特別ミュージアムトーク

シンポジウム「葛城修験の信仰・儀礼・言説—向井家文書・聖護院文書のコスモロジーとその四周一」

報告者：小橋勇介（和歌山市立博物館）「向井家文書からみた葛城修験」

長村祥知（京都府京都文化博物館）「聖護院文書にみる葛城嶺修行」

大橋直義（和歌山大学）「『七宝瀧寺縁起』と志一上人のことなど」

大河内智之（和歌山県立博物館）

「中津川行者堂碑伝にみる葛城修験の護法善神—深蛇大王と二上権現—」

コメンテーター：藤本清二郎（和歌山大学名誉教授）

司会：大橋直義

3/10

10:00～11:30

13:30～17:00

謡曲奉納および鈴木屋敷・藤白神社等の現地見学（海南市藤白）

シンポジウム「熊野・紀伊路と能楽」

報告者：大橋直義（和歌山大学）「道成寺の縁起と芸能—南北朝から近世への道程—」

高橋悠介（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫）「能に描かれた紀州の神仏」

小林健二（国文学研究資料館）「番外謡曲「鈴木三郎重家」とその復曲」

司会：吉村旭輝（和歌山大学）

【問い合わせ・参加申し込み】

ご参加ご希望の方は、お名前・ご連絡先・ご参加人数・ご参加希望日（両日でも可）をご明記の上、可能な限りEメールにてお申し込みください

大橋直義〔和歌山大学 教育学部〕 naohashi@center.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学 地域活性化総合センター 紀州経済史文化史研究所（FAX）073-457-7890